



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ピエトロ

コード番号 2818 URL <http://www.pietro.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 村田 邦彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長

(氏名) 池田 邦雄

TEL 092-724-4927

四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	4,940	△13.3	300	△34.7	290	△37.9	135	△40.3
24年3月期第2四半期	5,699	0.5	460	36.6	467	45.4	226	87.2

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 133百万円 (△40.4%) 24年3月期第2四半期 224百万円 (91.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	24.16	—
24年3月期第2四半期	40.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	7,538	3,158	41.9	564.52
24年3月期	7,337	3,126	42.5	558.33

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 3,156百万円 24年3月期 3,121百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	18.00	18.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,300	2.1	460	3.0	450	0.8	180	10.6	32.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 有
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	5,591,630 株	24年3月期	5,591,630 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	497 株	24年3月期	458 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	5,588,940 株	24年3月期2Q	5,591,240 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きを実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算説明会及び四半期決算補足説明資料の入手方法)

当社は、平成24年10月31日(水)及び11月2日(金)にアナリスト向け四半期決算説明会を開催する予定です。四半期決算補足説明資料については、説明会当日に会場にて配布いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
(6) セグメント情報等 .....	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要の下支えがあるものの、長引く円高やデフレにより景気が低迷し、先行き不透明感が増す状況で推移いたしました。

食品業界及び外食業界におきましては、消費者の節約志向が続くとともに、穀物相場の上昇等による原材料コストへの影響が懸念され、厳しい環境が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、さらなるブランド価値向上を目指し、付加価値の高い商品やサービスのご提供に取り組んでまいりました。

・売上高

食品事業におけるドレッシング商品の売上が好調に推移したものの、受託事業の一部がなくなったことなどから、49億40百万円（前年同期比13.3%減）となりました。

・利益面

売上総利益は、食品事業が寄与して前年同期比増益の28億63百万円（前年同期比3.3%増）となったものの、アンテナショップの新設やテレビコマーシャルの放映など、ブランド訴求のため積極的な情報発信を行ったことから販管費が増加し、営業利益は3億円（前年同期比34.7%減）、経常利益は2億90百万円（前年同期比37.9%減）、四半期純利益は、1億35百万円（前年同期比40.3%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①食品事業

健康志向の高まりから、コレステロール0（ゼロ）の主力ドレッシング（オレンジキャップ、グリーン）やオリーブオイルを使用した新シリーズのドレッシングの売上が伸びました。特に、6月に発売したドレッシング「塩麴オリーブオイル」は、引き続きご好評をいただいております。利益面では、原価率の上昇があったものの増収効果により増益となりました。

以上の結果、売上高は30億86百万円（前年同期比11.3%増）、セグメント利益は10億31百万円（前年同期比5.2%増）となりました。

<平成24年度 新商品>

発 売 時 期	商 品 名
平成24年6月	ドレッシング 「塩麴オリーブオイル」
平成24年9月	ドレッシング 「しょうがオリーブオイル」 パスタソース 「蟹のペペロンチーノ」

②通信販売事業

プレミアム商品であるピエトロファーマーズシリーズの新商品を投入し品揃えの充実を図る一方、広告を控えるなど効率的な販促活動を実施してまいりました。しかしながら、健康サポート関連商品の競争激化や仕入商品の原価率アップなどにより、前年同期と比べ、売上、利益ともに減少いたしました。

以上の結果、売上高は3億14百万円（前年同期比6.9%減）、セグメント損失は2百万円（前年同期は13百万円のセグメント利益）となりました。

<平成24年度 通信販売新商品>

発 売 時 期	商 品 名
平成24年4月	パスタソース 「イカスミのブラックカレーソース」 スープ 「2種のオリーブと香味野菜のコンソメスープ」 冷凍ドリア（2種） 村田厨房直送便「春便り」
平成24年7月	冷製パスタソース 「夏野菜のサフランジュレソース」 羽根ピザ（3種類） 村田厨房直送便「夏便り」

## ③レストラン事業

季節のメニューとして「春のおいしさフェア」や「冷製パスタフェア」などフェアメニューのご提供や、新シリーズとして「夏のイタリー麺」をラインナップに加えるなど、パスタ専門店としてメニュー強化を行ってまいりました。また、食品事業との連動キャンペーンや福岡地区における特典付き会員サービス「ピエトロクラブ」の販促などをおして、集客力の向上を図ってまいりました。

以上の結果、売上高は、既存店（直営）は前年売上を維持したものの5店舗（直営）の閉店の影響などにより、14億64百万円（前年同期比7.4%減）となりました。一方、セグメント利益は、販管費の削減など収益改善を図り、35百万円（前年同期比152.2%増）となりました。

<平成24年度 レストラン 季節のメニュー>

発 売 時 期	商 品 名
平成24年4月	春のおいしさフェア
平成24年5月～8月	夏のイタリー麺
平成24年6月～8月	冷製パスタフェア
平成24年9月	カルボナーラフェア

## ④その他（本社ビル等の賃貸）事業

その他（本社ビル等の賃貸）事業におきましては、本社ビルのテナント入居により、売上高は75百万円（前年同期比4.5%増）、セグメント利益は36百万円（前年同期比25.0%増）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ2億1百万円増加し、75億38百万円となりました。これは主に現金及び預金が2億77百万円増加する一方、売掛金が72百万円減少したことなどによるものであります。

負債合計は前連結会計年度末に比べ1億68百万円増加し、43億79百万円となりました。これは長短借入金増加1億30百万円、未払法人税等が58百万円、未払金が52百万円、役員退職慰労引当金が52百万円それぞれ増加する一方、買掛金が1億49百万円減少したことなどによるものであります。

純資産合計は前連結会計年度末に比べ32百万円増加し、31億58百万円となりました。これは前期決算の剰余金の配当1億円及び四半期純利益1億35百万円の計上によるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、国内外の経済減速の懸念が強まり、予断を許さない状況が続くと思われま

す。当社グループは、レストラン事業と食品事業をあわせ持つ強みを生かしながら、今後も、お客様にご満足していただける付加価値の高い商品とサービスをご提供してまいります。

なお、通期の連結業績予想につきましては、平成24年5月15日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方々に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ844千円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	956,312	1,233,611
預け金	75,710	63,424
売掛金	1,266,434	1,194,406
商品及び製品	72,909	81,912
仕掛品	4,622	4,609
原材料及び貯蔵品	117,781	115,463
その他	220,885	157,255
貸倒引当金	△6,994	△750
流動資産合計	2,707,663	2,849,933
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,621,622	1,608,959
土地	1,965,002	2,006,202
その他(純額)	167,144	177,784
有形固定資産合計	3,753,769	3,792,947
無形固定資産	14,194	12,967
投資その他の資産		
敷金及び保証金	470,858	464,679
その他	407,241	440,381
貸倒引当金	△16,119	△22,221
投資その他の資産合計	861,979	882,839
固定資産合計	4,629,944	4,688,753
資産合計	7,337,608	7,538,687
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	666,016	516,779
短期借入金	1,400,000	1,450,000
1年内返済予定の長期借入金	218,490	353,420
未払金	426,911	478,945
未払法人税等	34,732	92,884
賞与引当金	50,553	53,325
資産除去債務	—	2,130
その他	216,082	225,635
流動負債合計	3,012,786	3,173,121
固定負債		
長期借入金	491,380	436,588
退職給付引当金	66,947	66,455
役員退職慰労引当金	429,760	482,422
資産除去債務	48,071	45,074
その他	162,377	176,246
固定負債合計	1,198,537	1,206,787
負債合計	4,211,323	4,379,908

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	474,400	474,400
資本剰余金	516,922	516,922
利益剰余金	2,133,358	2,167,419
自己株式	△416	△449
株主資本合計	3,124,264	3,158,291
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△362	△70
為替換算調整勘定	△2,172	△1,928
その他の包括利益累計額合計	△2,534	△1,999
少数株主持分	4,554	2,486
純資産合計	3,126,284	3,158,778
負債純資産合計	7,337,608	7,538,687

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	5,699,976	4,940,342
売上原価	2,927,654	2,076,586
売上総利益	2,772,321	2,863,756
販売費及び一般管理費	2,311,726	2,562,909
営業利益	460,595	300,846
営業外収益		
受取利息	245	106
受取配当金	537	729
貸倒引当金戻入額	22,479	261
その他	2,959	1,433
営業外収益合計	26,221	2,531
営業外費用		
支払利息	10,515	7,793
シンジケートローン手数料	3,017	3,063
その他	5,945	2,384
営業外費用合計	19,478	13,241
経常利益	467,337	290,136
特別利益		
負ののれん発生益	—	1,699
特別利益合計	—	1,699
特別損失		
固定資産除却損	1,483	348
減損損失	3,054	1,727
投資有価証券評価損	—	6,337
特別損失合計	4,537	8,413
税金等調整前四半期純利益	462,800	283,422
法人税、住民税及び事業税	26,517	86,630
法人税等調整額	211,682	63,936
法人税等合計	238,199	150,567
少数株主損益調整前四半期純利益	224,600	132,854
少数株主損失(△)	△1,423	△2,172
四半期純利益	226,023	135,027



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	224,600	132,854
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△274	291
為替換算調整勘定	△219	348
その他の包括利益合計	△493	639
四半期包括利益	224,106	133,494
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	225,596	135,562
少数株主に係る四半期包括利益	△1,489	△2,068

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	462,800	283,422
減価償却費	102,283	91,951
減損損失	3,054	1,727
負ののれん発生益	—	△1,699
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△22,612	△466
賞与引当金の増減額 (△は減少)	8,447	1,871
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	9,435	△491
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	49,011	52,662
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	6,337
受取利息及び受取配当金	△782	△836
支払利息	10,515	7,793
売上債権の増減額 (△は増加)	37,799	109,715
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△26,084	△5,158
仕入債務の増減額 (△は減少)	△22,646	△151,951
未払消費税等の増減額 (△は減少)	2,484	7,264
その他	30,290	36,347
小計	643,996	438,489
法人税等の支払額	△19,269	△24,724
営業活動によるキャッシュ・フロー	624,727	413,765
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△30,000	△30,000
有形固定資産の取得による支出	△15,013	△74,505
有形固定資産の売却による収入	3,458	—
投資有価証券の取得による支出	△1,548	△11,729
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	9,357
敷金及び保証金の差入による支出	△55	△36,062
敷金及び保証金の回収による収入	96,250	80,925
保険積立金の積立による支出	△25,779	△25,779
利息及び配当金の受取額	782	836
その他の収入	5,551	4,493
その他の支出	△3,695	△10,271
投資活動によるキャッシュ・フロー	29,951	△92,736
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	—	200,000
長期借入金の返済による支出	△228,436	△169,684
リース債務の返済による支出	△11,262	△14,358
自己株式の取得による支出	△36	△33
自己株式の処分による収入	—	3,677
配当金の支払額	△111,471	△100,090
利息の支払額	△9,416	△8,001
財務活動によるキャッシュ・フロー	△360,622	△88,490
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,618	1,873
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	291,437	234,412
現金及び現金同等物の期首残高	692,772	906,776
現金及び現金同等物の四半期末残高	984,210	1,141,188

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	食品事業	通信販売 事業	レストラン 事業	生産管理 事業	その他 (本社ビル 等の賃貸) 事業	計		
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	2,773,765	337,395	1,582,429	934,060	72,326	5,699,976	—	5,699,976
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	974	974	△974	—
計	2,773,765	337,395	1,582,429	934,060	73,300	5,700,951	△974	5,699,976
セグメント利益	980,560	13,754	14,234	11,640	29,391	1,049,582	△588,987	460,595

(注) 1 セグメント利益の調整額に含めた各セグメントに配賦できない金額は588,987千円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	食品事業	通信販売 事業	レストラン 事業	その他 (本社ビル等 の賃貸) 事業	計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	3,086,077	314,094	1,464,615	75,556	4,940,342	—	4,940,342
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	974	974	△974	—
計	3,086,077	314,094	1,464,615	76,530	4,941,317	△974	4,940,342
セグメント利益 又は損失(△)	1,031,213	△2,149	35,901	36,735	1,101,700	△800,853	300,846

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額に含めた各セグメントに配賦できない金額は800,853千円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 前連結会計年度にて日清オイリオグループ株式会社との生産管理契約を解消しているため、同事業セグメントを廃止しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。